

映画大好き
堀内誠一

小暮徹
こぐれひでこ

パリでの堀内家同居人
写真家とイラストレーターの夫婦
映画のチラシを描きあって
同居中のパリの家の壁に貼っていた



PARIS

ベルナール・ベロー

パリの日本人向けのミニコミ誌
「いりふね・でふね」を立ち上げる
誠一がパリに住むきっかけ?



和田誠

グラフィックデザイナー
イラストレーター
映画に詳しいことで
誠一氏が電話で質問を
仰いだ思い出 (花子氏談)

BRUTUS

創刊

真鍋博

イラストレーター
エッセイスト
星新一や筒井康隆などの
SF小説の挿絵をかく

松山猛

編集者・ライター
ミュージシャンの作詞を
手がけたのち、BRUTUS
などで活躍

都築響一

編集者・ライター・写真家
現代美術や路上観察系
作:「珍日本紀行」

三好和義

写真家
楽園をテーマに
世界各地で撮影
「BRUTUS 3号
地中海に行く」でも
撮影する



奈良原一高

作:「人間の土地」
「ヨーロッパ・静止した時間」
シャンゼリゼにて封切り直後の
「スターウォーズ」を誠一氏と観る

「父・堀内誠一が居る家 パリの日々」から 堀内誠一を中心とした相関図

絵本作家・装丁家・画家
作:「ふしぎなえ」・「旅の絵本」
パリの堀内家に毎年のように訪問
誠一氏の没後、花子氏が取材旅行
にも同行した



安野光雅



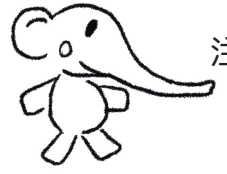
瀬田貞二

露翻訳家・児童文学者
翻:「指輪物語」・「ナルニア国物語」
共:「七わのからす」など
誠一氏が生涯尊敬し敬愛した



澁澤龍彦

仏文学翻訳家・小説家
翻:マルキド・サド他
共:「血と薔薇」編集
作:「高丘親王航海記」
路子氏が紹介、家族ぐるみの
深い付き合いが続いた



出口裕弘

作家・仏文学者
三島由紀夫の評論や
バタイユの翻訳で知られる
白塗りの舞踏をパリで上演
おはぎの思い出 (花子氏談)



スズキコージ

絵本作家
共:血と薔薇編集
作:「エンソくん きしゃにのる」
「おぼけドライブ」など
誠一氏と北海道旅行へ

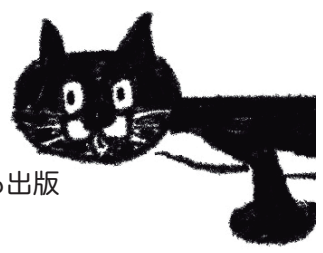


瀬川康男

画家・版画家・絵本作家
作:「いないいないばあ」
日本の祭りをめぐる旅を
誠一氏とまわった

谷川俊太郎

詩人・絵本作家・翻訳家
共:「びよびよ」・「音楽の肖像」
「マザー・グースのうた」は
林光氏が音楽をつけたレコードも出版
堀内家・安野光雅と旅行も



山口智子

仏翻訳家。
共:「リスのゲルランゲ」
「ふくろにいれられたおとこのこ」
パリに住み堀内家がお世話になる



内田莉沙子

露翻訳家・児童文学者
翻:「てぶくろ」・「おおきなかぶ」
共:「太陽の木の枝」
「パンのかけらとちいさなあくま」

内田巖

洋画家
戦後のプロレタリア美術を
牽引した

漫画集団

長新太

漫画家・絵本作家
作:「キャベツくん」
誠一氏の推薦によりデビュー

岸田衿子

詩人・童話作家・作詞
作:「忘れた秋」
共:「どうぶつしんぶん」
「かにこちゃん」・「オズの魔法使い」
ananのインド・ネパール特集で
誠一氏が起用し家族ぐるみの仲へ

堀内誠一

伝説のアートディレクター兼
絵本作家。今も様々な仕事で
生き続けている



路子

在学中のバイト先
「ロッコール」の編集部で
誠一氏と出会う
「こどものとも」の編集者に

矢川澄子

福音館の月刊絵本
「こどものとも」創刊

作家・詩人・翻訳家
翻:「不思議の国のアリス」
共:「ドイツのわらべうた」
作:「架空の庭」
路子氏が児童文学や絵本の仕事を
勧めた、家族ぐるみの深い仲



石井桃子

児童文学者・翻訳家
翻:「くまのプーさん」
「ピーターラビット」
共:「こすずめのぼうけん」

松居直

編集者・児童文学者
「母の友」・「こどものとも」
を創刊

写真家

ミノルタのPR誌

立木義浩

誠一氏の元でプロカメラマン
としてデビュー

植田正治

鳥取砂丘を舞台に家族を撮った
演出写真という新しい分野を
生み出した

花子



堀内事務所代表
フランス語の通訳・翻訳業
中学一年生で家族とパリに移住。
1970年代当時の学校や
パリの街並み、旅行、父の交友録などを
エッセイにまとめた
作:「父・堀内誠一が居る家 パリの日々」

紅子



児童文学の翻訳業・保育士
小学4年でパリに移住
誠一・岸田衿子の共作
「くまとりすのおやつ」は
原画が行方不明になり紅子の
絵で再発行した

赤塚不二夫



漫画家
作:「おそ松くん」
「天才バカボン」など
ポンキッキでは
ニャロメが登場

かこさとし

絵本作家・工学博士
作:「からすのパンやさん」
「だるまちゃん」シリーズ
「川」・「海」など